

ものづくりの“心”をつたえる。



証券コード: 2169

第38期
2017年12月期
決算説明会資料

2018年3月2日

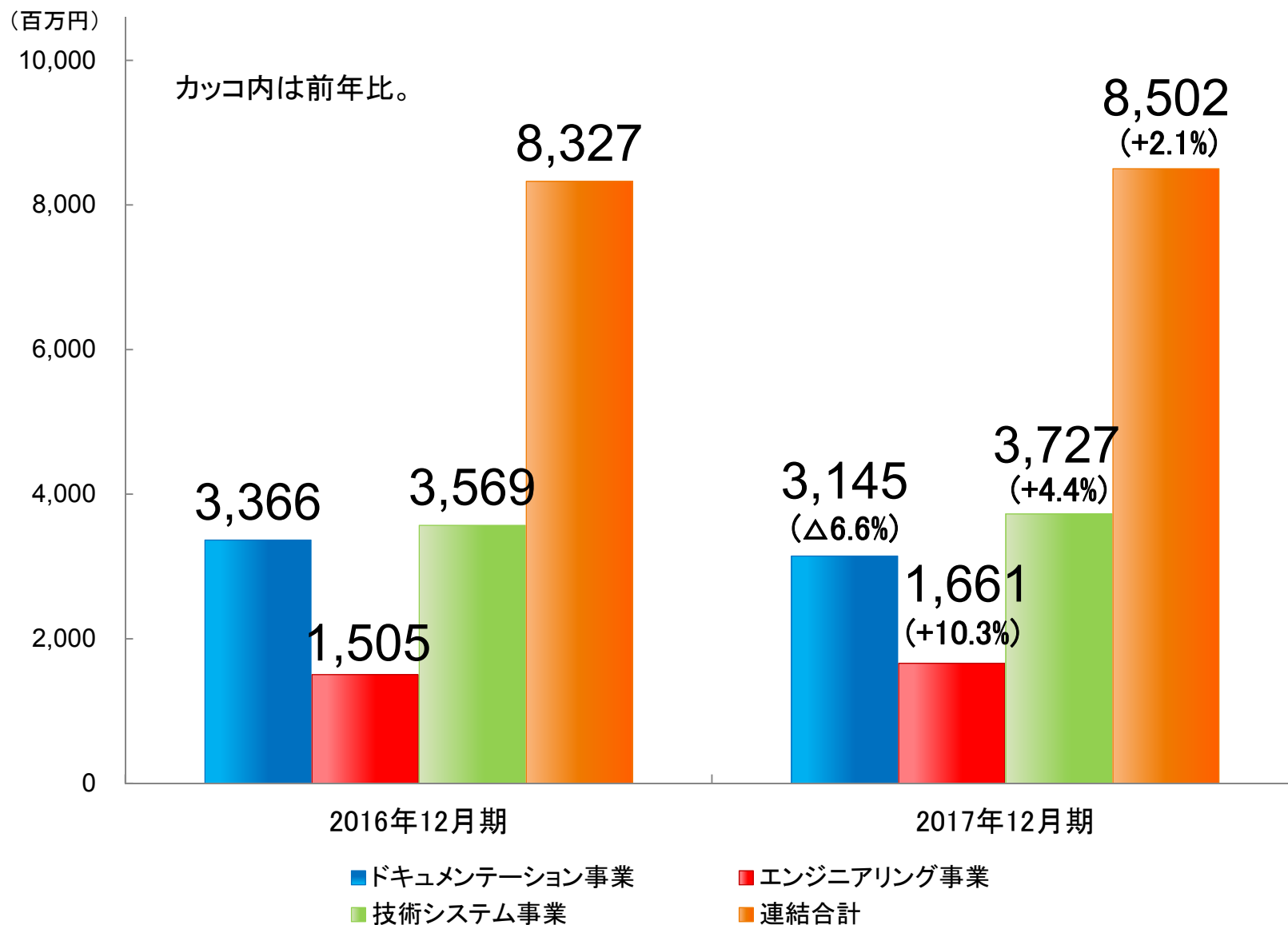


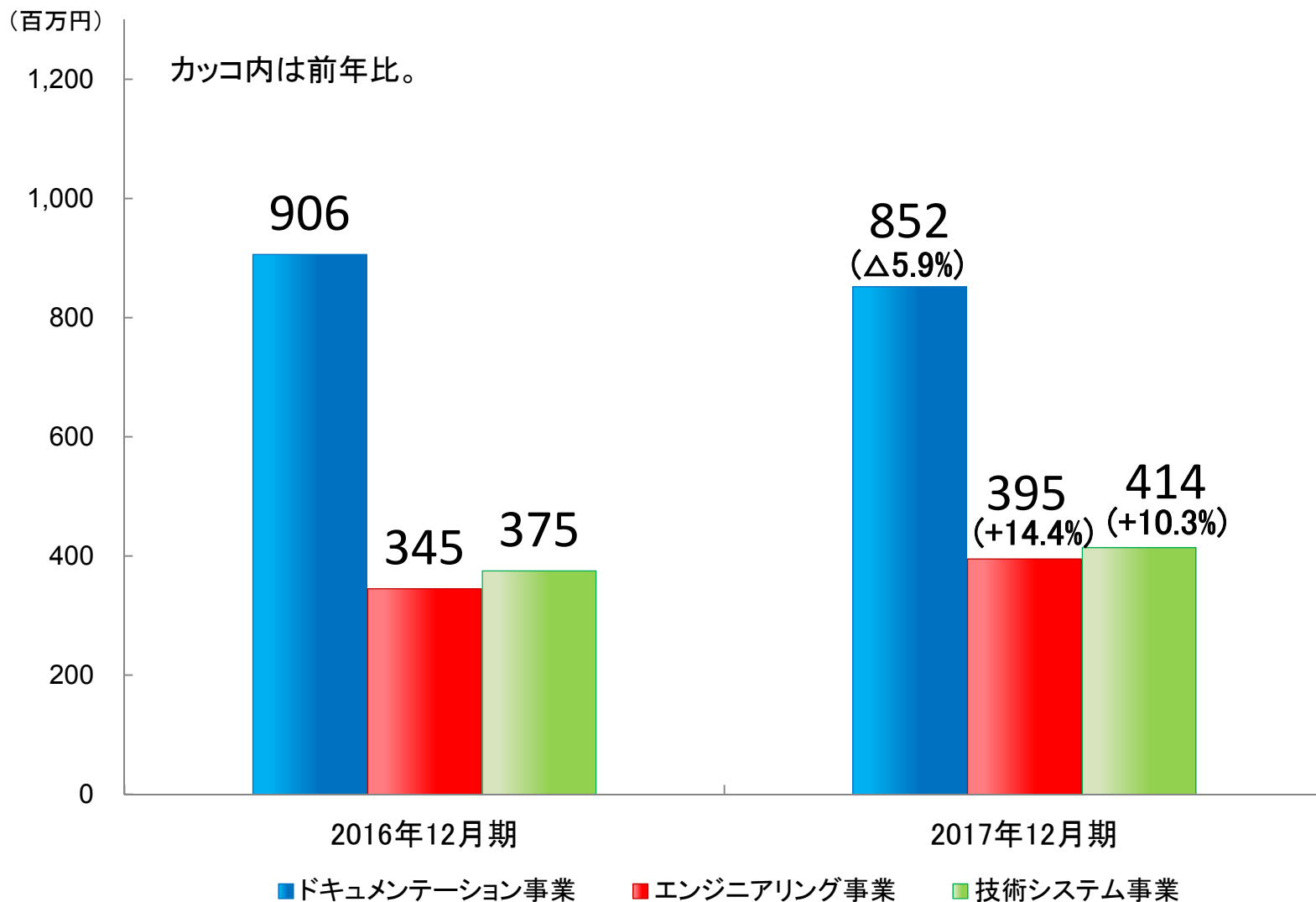
第38期 2017年 12月期決算

2017年12月期 連結決算の状況

単位：百万円

	2016年 12月期	2017年12月期		
			前年比	増減額
売上高	8,327	8,502	+2.1%	+175
営業利益	1,028	1,052	+2.3%	+23
経常利益	1,030	1,059	+2.9%	+29
当期純利益	581	670	+15.2%	+88





※ セグメント間調整は含まず。

ドキュメンテーション事業

- ◇ ドキュメンテーション事業は一部の顧客企業で機種開発の抑制などが行われた影響を受け、減収減益となった。

エンジニアリング事業

- ◇ エンジニアリング事業はバイナスのロボットFA事業が好調に推移したことにより、増収増益となった。

技術システム事業

- ◇ 技術システム事業は取引先のIT投資が活発に行われたことにより、増収増益となり、過去最高実績を更新した。

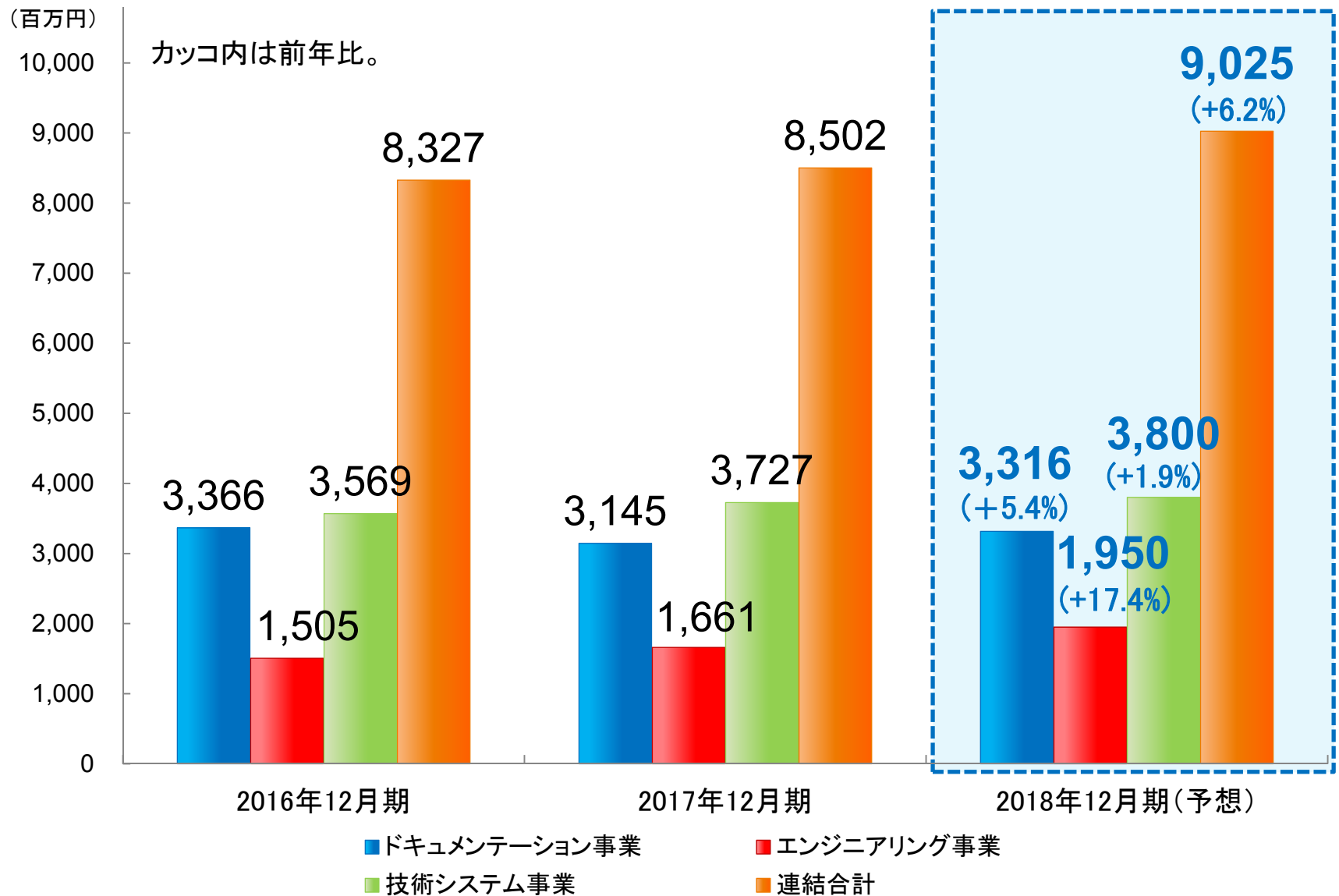


第39期
2018年 12月期
業績 予想

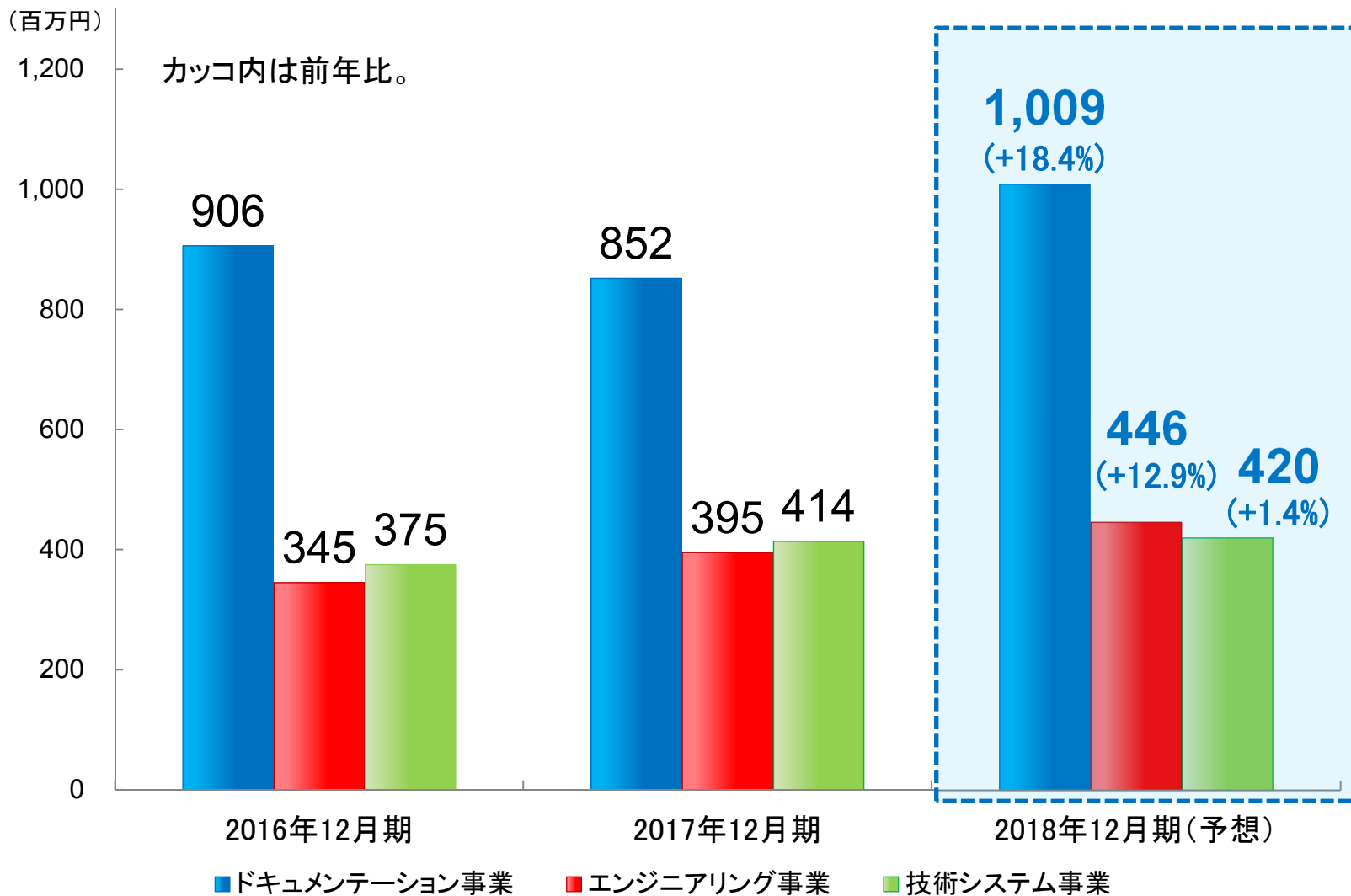
単位：百万円

	2016年 12月期	2017年 12月期	2018年12月期(予想)		
			前年比	増減額	
売上高	8,327	8,502	9,025	+6.2%	+522
営業利益	1,028	1,052	1,195	+13.5%	+142
経常利益	1,030	1,059	1,180	+11.4%	+120
当期純利益	581	670	737	+10.0%	+67

2018年12月期 連結売上高の事業別内訳(予想)



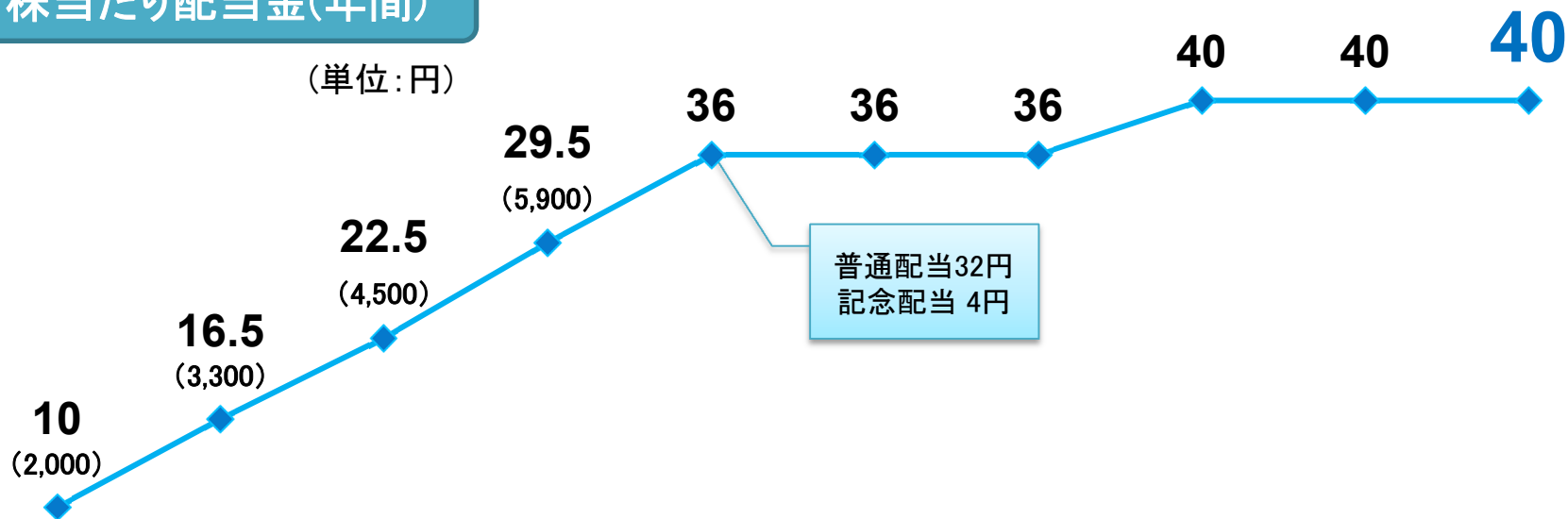
2018年12月期 連結営業利益の事業別内訳(予想)



※ セグメント間調整は含まず。

1株当たり配当金(年間)

(単位:円)



※ 2013年1月1日に株式200分割を実施。
カッコ内は分割前実績。

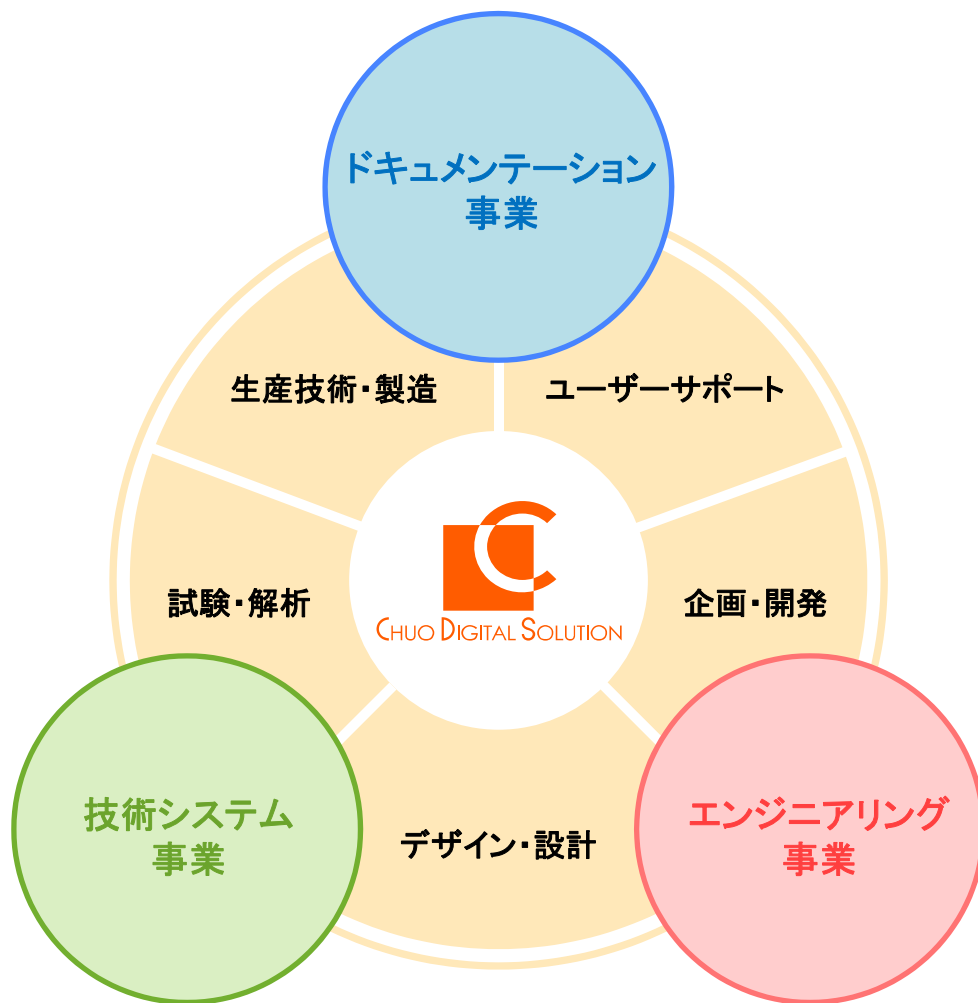
2009年12月期 2010年12月期 2011年12月期 2012年12月期 2013年12月期 2014年12月期 2015年12月期 2016年12月期 2017年12月期 2018年12月期
(予想)

	中間	期末	年間	配当性向	ROE
2016年12月期	20円	20円	40円	46.8%	12.9%
2017年12月期	20円	20円	40円	40.7%	13.8%
2018年12月期(予想)	20円	20円	40円	37.0%	12.8%



CDSグループ 今後の成長戦略

グループ各社の特徴を活かし“ものづくり企業”の 全工程をトータルでサポート



ドキュメンテーション事業

コア技術	Webコンテンツ、CGアニメ、eラーニング、セールス・技術プレゼン、多言語翻訳 等
主要製品/サービス	技術資料、教育資料、作業要領書、取扱説明書、パーツガイド、整備解説書 等

エンジニアリング事業

コア技術	先端ロボット技術、CAD、CAE 等
主要製品/サービス	ロボット・システムの製造、FAエンジニアリング、メカトロ教材の製造・販売

技術システム事業

コア技術	CAD、CAE、CAT、CAM、PDM、BOM、PLM、SCM、CRM 等
主要製品/サービス	製造業における製品開発に係る技術系システムの開発・運用及び企画・コンサルティング、試験・解析 等

CDSグループ 経営戦略

- 1. 連結売上高100億円達成に向けた各事業本部の成長戦略の構築**
各事業本部はそれぞれに持続性のある成長を意識した戦略的経営を行う
- 2. ロボットビジネスの基盤強化と拡充**
ロボットビジネスはグループの成長エンジンとして、スピード感をもって事業基盤を固めるとともにグループ経営の拡充を牽引する
- 3. 事業本部間にまたがる新規事業の創出**
CDSグループの3事業本部の存在は他社にない強みのひとつであることを自覚し、コミュニケーションを密にして各事業本部間の隙間を埋め、新規事業を立ち上げる
- 4. M & A 実現による体質強化**
M & A 後のPMI (Post Merger Integration) に対応できる体制構築

CDSグループ 最重点戦略

ロボットビジネスの 基盤強化と拡充

- ・ ロボット・FAシステムを戦略ビジネスと位置づけ、ロボットビジネス事業の拡大に向けた戦略的施策を展開
- ・ CDSグループの成長エンジンとして、資本と人材を重点的に投資

2020年 中期目標達成に向けた

ロボットビジネス拡大のキーファクター

- ① 最先端でユニークなロボットアプリケーションの継続的な事業拡大
- ② 農業、物流産業向けロボットアプリケーションの開発・販売
- ③ 小中学校「プログラミング教育」必須化に向けたマーケットに参画
- ④ 人材育成ビジネスを開始、BYNAS教育センター開校

外部環境

- ◆ 労働人口減少に伴う深刻な人手不足
- ◆ 2020年ロボット市場を3兆円に（2015年比2倍）
- ◆ 小中学校プログラミング教育必須に向けたマーケット
- ◆ 産業用ロボットの技術者不足

①最先端でユニークなロボットアプリケーションの継続的な事業拡大

🤖 多種多彩なロボットアプリケーションを導入、既存顧客、新規顧客を今後も拡大

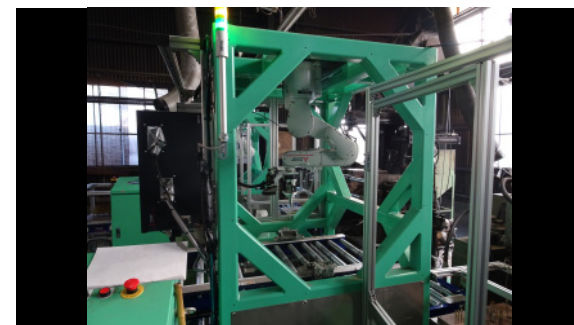
減速機高精度組み立てロボット



金融系 硬貨整列ロボット



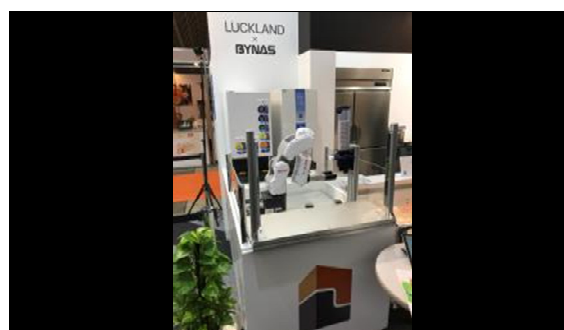
自動車部品バリ取りロボット



食品フィルム箱詰めロボット



カフェロボ



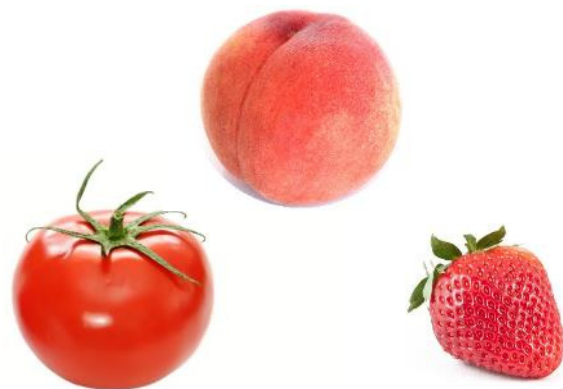
お菓子箱パレタイズロボット



② 農業、物流産業向けロボットアプリケーションの開発・販売

つぶさず、傷つけずにつかむ触覚センサーロボットハンドを開発

つぶれやすい野菜、果物のパック詰め、箱詰め



触覚センサーハンド

傷つけやすい食材のパック詰め、包装前整列



2017国際ロボット展 出展

② 農業、物流産業向けロボットアプリケーションの開発・販売

自動化が進んでいない物流工程向けロボットアプリケーションを開発



モバイル搬送ロボットアプリケーション

モバイル搬送車

マニピュレータ機構

WMS連携プログラム

複数台協調制御

無接触給電機構



AGVピッキングロボットアプリケーション

AGV

協働ロボット

ロボットハンド

ビジョンカメラプログラム

WMS連携プログラム

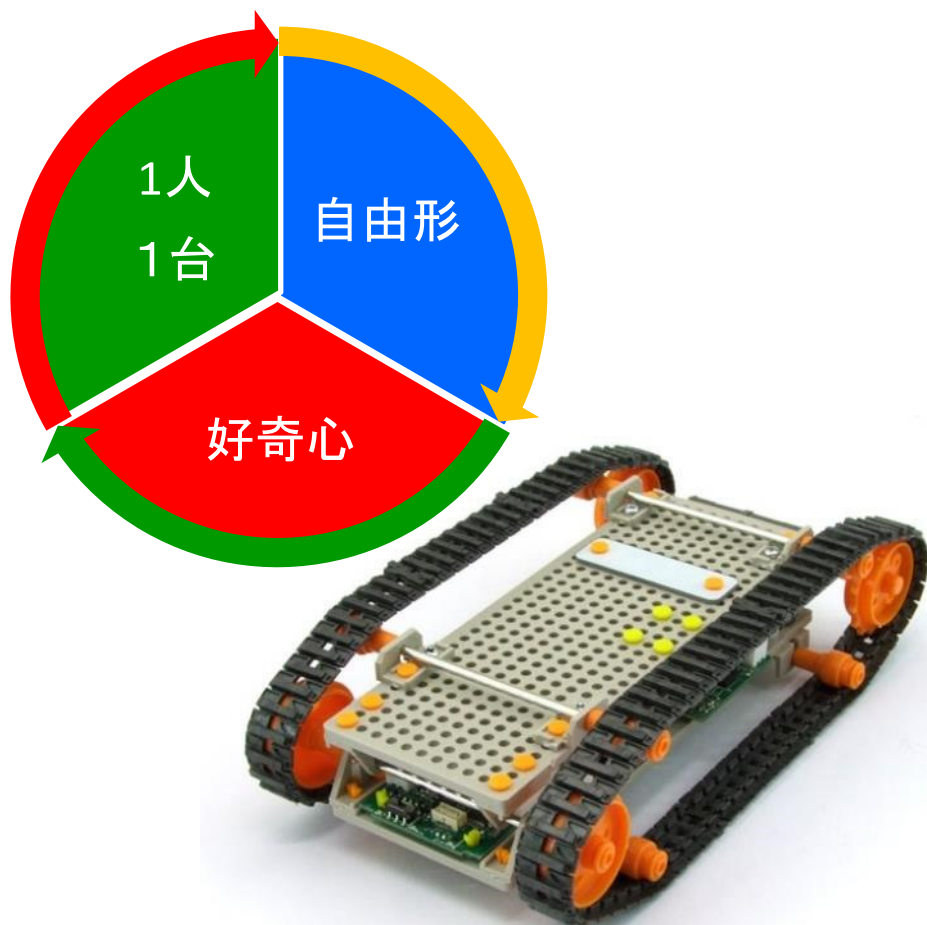
無接触給電機構

: バイナス開発カテゴリ (無接触給電機構は現在開発中)

③小中学校「プログラミング教育」必須化に向けたマーケットに参画

「プログラミング教育」バイナスオリジナル教材 「クロール」

クロール コンセプト



クロール 実習キット

バイナス近郊の中学校で
「クロール」学習モニタリング



④ 人材育成ビジネスを開始、BYNAS教育センター開校

産業ロボットシステムインテグレータを育成する「BYNAS教育センター」開校

ロボットメーカーの教育

- ◆ 自社製品の機能解説や、安全講習が主体



- ◆ ロボットが導入されるエンドユーザ目線の教育

BYNAS教育センター

- ◆ 作業内容に適したロボットの選定、プログラミング
- ◆ ハンドの選定、設計と構築
- ◆ ティーチング技術
- ◆ ロボットと外部機器の接続方法
- ◆ システム制御プログラム
- ◆ コンベア、空圧機器、モータなどの駆動技術
- ◆ 安全教育（法令、安全対策）



- ◆ ロボットを導入するシステムインテグレータ目線の教育

国家検定制度を見据えて開発された「ロボットレーナ」



各ロボットメーカー ラインアップ

- ◆ この資料は投資家の参考に資するため、CDS株式会社(以下、当社)の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- ◆ 当資料に記載された内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。
- ◆ 本資料において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測ならびにリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- ◆ それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- ◆ 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本資料に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。
- ◆ その他の掲載内容に関しても最新の注意を払っておりますが、不可抗力により情報に誤りを生ずる可能性もありますので、ご注意ください。
- ◆ 以上を踏まえ、投資を行う際は、投資家の皆様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。



CDS株式会社